

## 橘小学校等複合化整備事業に係る仮設校舎設置に関する質疑応答集

### <総論>

Q 複合化での小学校の整備ということですがそもそもその目的は何なのでしょう。

A 橘小学校を周辺の公共施設と複合化することにより「さまざまな世代の人々が、ふれあう、学びあう、つながりあう、新たな地域コミュニティ拠点」となる学校を整備していきたいと考えています。併せて橘小学校はかねてから、地域より運動場の狭さや防災機能の強化等に関する要望をいただいております。その要望に対応していきたいと考えています。

Q 橘小学校敷地や橘学区内での仮設校舎の設置はできないのでしょうか。

A 複合施設の建設工事は大規模な工事となることから、橘小学校敷地内での仮設校舎の設置はできないと考えております。また、公園等、学区内で対応ができないか検討しましたが関係法令を満たし、児童の教育活動を十分に実施できる適地を見つけることはできませんでした。

Q なぜ平和小学校の運動場なのでしょう。

A 運動場の面積が広く、橘小学校の多くの児童の通学の負担（通学距離）が少ないことから平和小学校の運動場へ仮設校舎を設置したいと考えています。

### <整備内容>

Q 仮設校舎の整備内容はどのようのでしょうか。

A 今回お示しさせていただいた計画図（案）は、体育館と利用頻度の低い特別教室2室を除く、全ての部屋を配置した規模で2階建てを想定しています。期間中の学校運営を含めた詳細については、両校の教職員を交え協議・検討を行ってまいりますので、今後変更になることがあります。仮設校舎の規模感のイメージをお示ししたいと考え、計画図（案）を作成したものです。

Q 運動場はどのようになるのでしょうか。

A 仮設校舎設置後の平和小学校の運動場の広さは概ね4,600㎡程度になると考えており、国の定める基準を上回る運動場の面積が確保できるものと考えています。葉場公園の利用を含め、両校がどのように運動場で教育活動を行っていくかは今後詳細を検討していきます。放課の過ごし方や部活動の運営等についても今後検討を進めていきます。

**Q 体育館はどのようになるのでしょうか。**

A 新たに仮設の体育館は建設せず、平和小学校の体育館を共用することを考えています。両校がどのように教育活動を行っていくかは、今後詳細を検討していきます。

### **<学校運営>**

**Q 両校の児童が一緒に活動するということはあるのでしょうか。**

A 校舎は別々となるため、通常の授業などはそれぞれの校舎、学級で実施することを想定しています。放課の過ごし方や課外授業などの実施方法の詳細は、これから両校の教職員を交えて検討していくことにしています。

**Q 入学式や卒業式等の式典や運動会などはどのようになるのでしょうか。**

A 式典や運動会等の実施方法については、これから両校の教職員を交えて検討していきますが、必要に応じて他の施設等を確保するなど、児童の教育活動に支障のないようにしていきたいと考えています。

**Q 橋学区の児童の通学路はどのようになるのでしょうか。**

A 通学路については、現状の通学路を活かしながら、どのような通学路が最も安全であるかを学校と検討を進めているところです。一番の懸念は山王通の横断であると考えており、横断に際しては地下鉄東別院駅の地下通路と、イーブルなごや付近の歩道橋を使って横断することを考えています。その他詳細や、危険箇所に対する必要な交通安全対策については、今後引き続き検討を進めていきます。

### **<その他>**

**Q 今回説明会を行ったのはなぜですか。**

A 令和3年度に学校関係者、学区関係者、複合化する施設関係者によるワークショップを開催し、複合化整備に関するご意見をいただき整備構想を策定しました。その内容をお伝えするとともに、平和小学校の運動場に仮設校舎を設置することを計画していることについて、少しでも早い段階で保護者の方に周知したいと考え、現段階における検討状況をお伝えさせていただいているものです。

**Q 今後このような機会はないのでしょうか。**

A 現状においては、両校の学校運営など多くの事項の内容がまだ具体的にお示しできない状況です。今後も説明会などの機会を設け、皆さまに必要な情報をお伝えしていきます。